

令和8年度 京大セミナー・ラボ

本校のセミナー・ラボの趣旨は「実際に最先端の学問研究の場に赴き、模擬講義や学生との交流を行ったうえで、大学で何を学ぶのか、学んだ先に何があるのか、高校でどのように行動すべきかを考える」というものです。2年生の希望者73名が吉田キャンパス・桂キャンパスに赴き、本校卒業生との座談会およびキャンパスツアー、研究室でのミニ講義・演習などを体験しました。

1 日時 令和8年7月24日（金）

2 日程 11:15-13:00 卒業生との座談会、昼食会、キャンパスツアー

13:00-15:00 研究室訪問

3 研究室 <吉田キャンパス>

考古学

 大学院文学研究科 吉井秀夫 先生

法 学

 公共政策連携研究部 原田大樹 先生

同 小川大成 先生

現 金沢大学人間社会研究域法学系 森廣祐也 先生

心理学

 人と社会の未来研究院 阿部修士 先生

同 中井隆介 先生

同 上田祥行 先生

人間環境科学

 大学院人間・環境学研究科 江川達郎 先生

農学

 大学院農学研究科 檀浦正子 先生

物理学

 工学研究科 辻徹郎 先生

<桂キャンパス>

高分子化学

 大学院工学研究科 大内誠 先生

同 西川剛 先生

合成生物化学

 大学院工学研究科 生越友樹 先生

同 加藤研一 先生

同 大谷俊介 先生

以上、8つの研究室の先生方や院生の方にお世話になりました。

4 生徒の感想

<卒業生との座談会、キャンパスツアーについて>

- ・現役の京大生ならではのリアルな受験体験や京大のキャンパスライフなど、ここでしか得られない貴重なお話を聞くことができた。
- ・勉強のモチベーションが上がったので、夏休み前のこの時期に行くことができて良かった。
- ・聞いたことを参考に、大学合格のために今行すべきことを考えて行動したい。
- ・先輩方のお話から、大学は自由であるからこそ、誰かが導いてくれるわけでもなく自分の判断や思考が唯一のたよりであるということを知ることができた。

<研究室訪問について>

- ・偶然発見したものが多くの論文に引用されたり身近なところで活用されたりしていることを知り、化学の面白さを改めて発見することができた。
- ・未知のものに対する研究がとても面白そうで、高校では答えがある実験しかしていないので、大学での研究にますます興味がわいた。
- ・大学の実験室でマウスを使った実験を見たり、実際に測定機器で自分の運動能力を測ったりと貴重な経験ができて良かった。
- ・京都大学だけではなく、他の大学と連携し多くのデータを集めていることを知り、改めて大学での研究の規模の大きさを知ることができた。
- ・研究室で実際に大学生が研究している様子や実験を見せてもらい、化学の面白さを実感することができた。
- ・様々な土器や陶器を間近に見ることができ、考古学を身近に感じるすることができた。

- ・ 児童虐待の例を用いて行政法について学び、法学部の学びを具体的にイメージすることができた。



